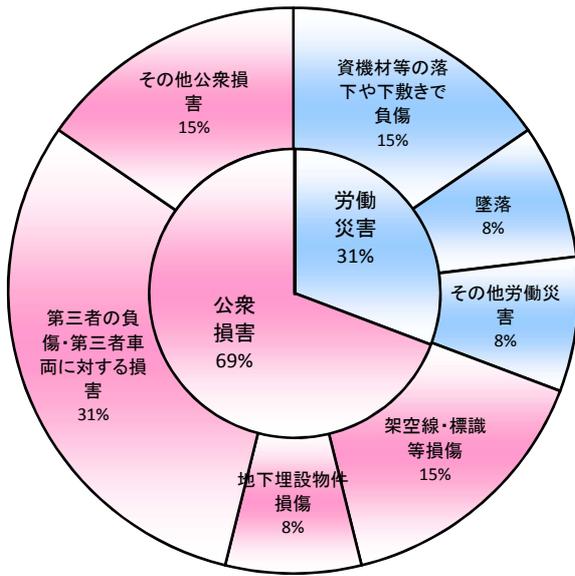


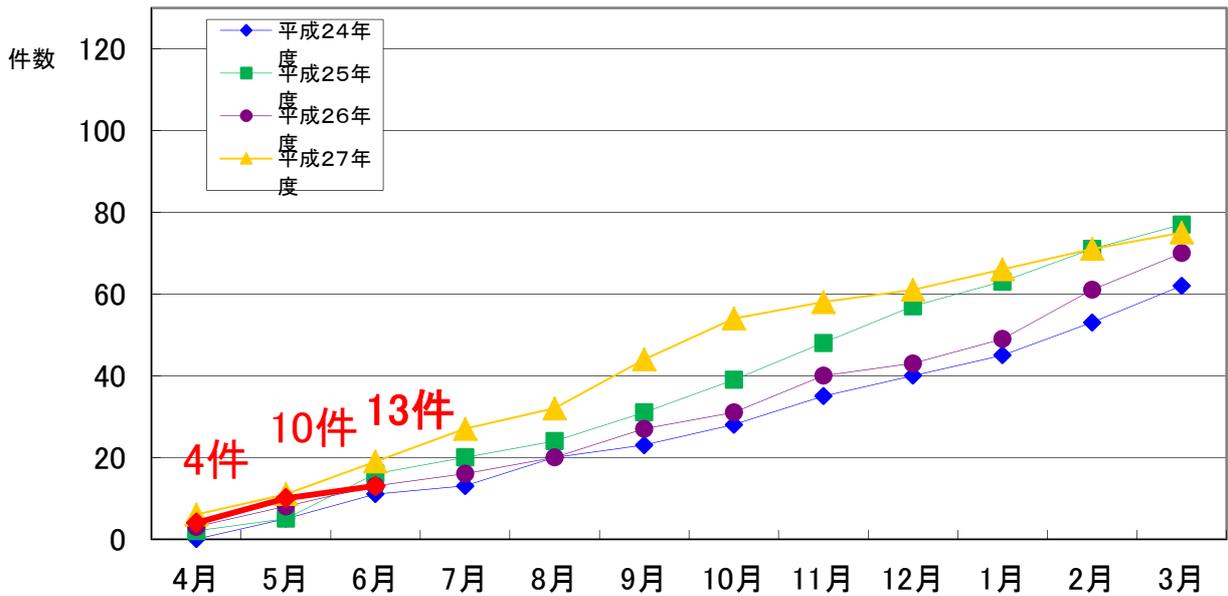
●平成28年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H26	H27	H28	過去3年間計
労働災害	建設機械等の稼働に関連した人身事故	4	3	0	7
	部材の加工作業等により自らを負傷	2	1	0	3
	資機材等の落下や下敷きで負傷	4	2	2	8
	墜落	6	7	1	14
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	14	13	1	28
小計		30	26	4	60
公衆損害	架空線・標識等損傷	8	13	2	23
	地下埋設物件損傷	7	4	1	12
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	21	16	4	41
	その他公衆損害	8	14	2	24
	小計	44	47	9	100
その他事故		1	5	0	6
計		75	78	13	166

● H28年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

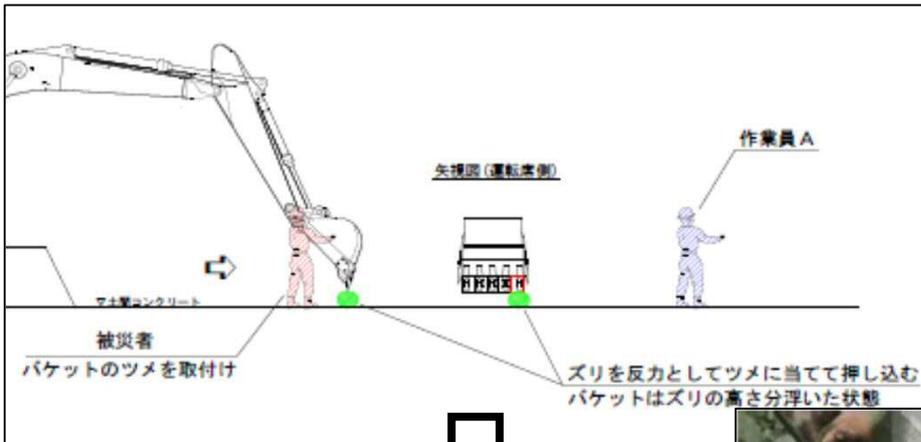


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件	20件	27件	31件	40件	43件	49件	61件	70件
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)	(4件)	(7件)	(4件)	(9件)	(3件)	(6件)	(12件)	(9件)
平成27年度 累計	6件	11件	19件	27件	32件	44件	54件	58件	61件	66件	71件	75件
(月毎)	(6件)	(5件)	(8件)	(8件)	(5件)	(12件)	(10件)	(4件)	(3件)	(5件)	(5件)	(4件)
平成28年度 累計	4件	10件	13件									
(月毎)	(4件)	(6件)	(3件)									

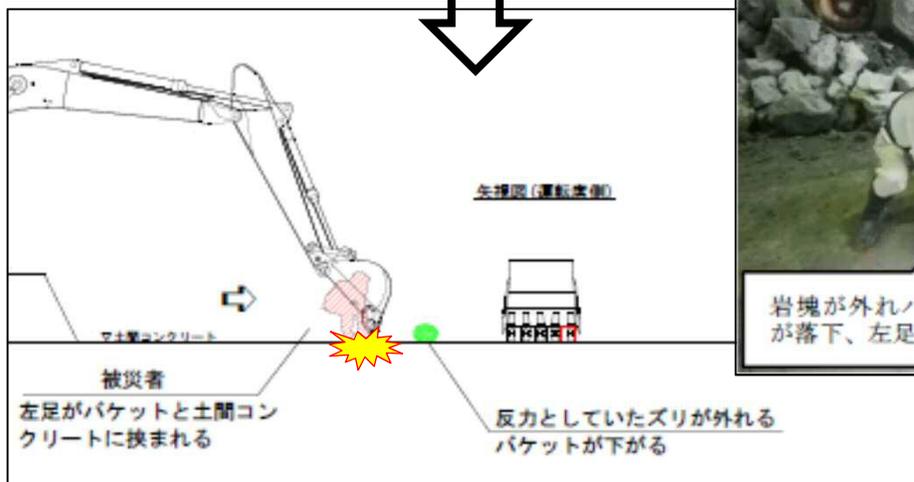
■問合せ先:企画部 技術調査課 西村・古賀 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 28 年 6 月 9 日 (金) 15 時 45 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	20	オペレーター	左足小指、薬指第二関節骨折
事故概要	バックホウ端部のツメを交換中、ツメの下に置いていたズリが外れ、作業員の足がバックホウのツメと土間コンクリートの間に挟まり負傷			
	労働災害-資機材等の落下や下敷きで負傷			

事故発生状況



ズリをツメを押し当て取付を行っていたが、ズリが外れ、バックホウと地面に足を挟んだ



- ・オペレータがバックホウを立て現場にあったズリを台として、つめに当てて押し込めば、取付けられると考え作業を行なった。
- ・ピンの穴が合ったので、バックホウ下に体を入れピンを打込んでいた時に、ズリが外れ、バックホウが下がった際に左足がバックホウと土間コンクリートに挟まれた。
- ・オペレータが交換を申し出たが、職長が修理せず、そのまま作業を続けるよう指示。その後、オペレータ自らの判断で交換を実施。

【事故発生原因】

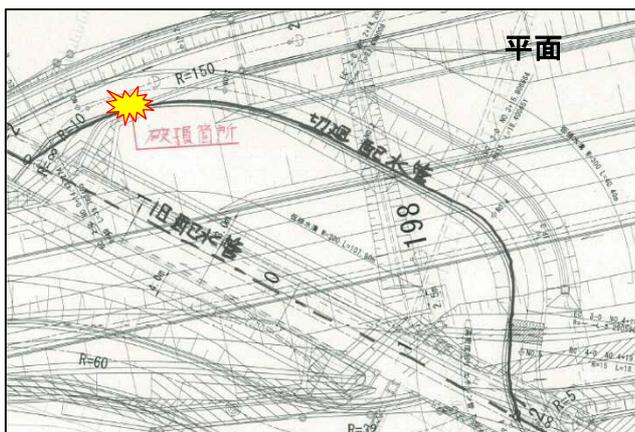
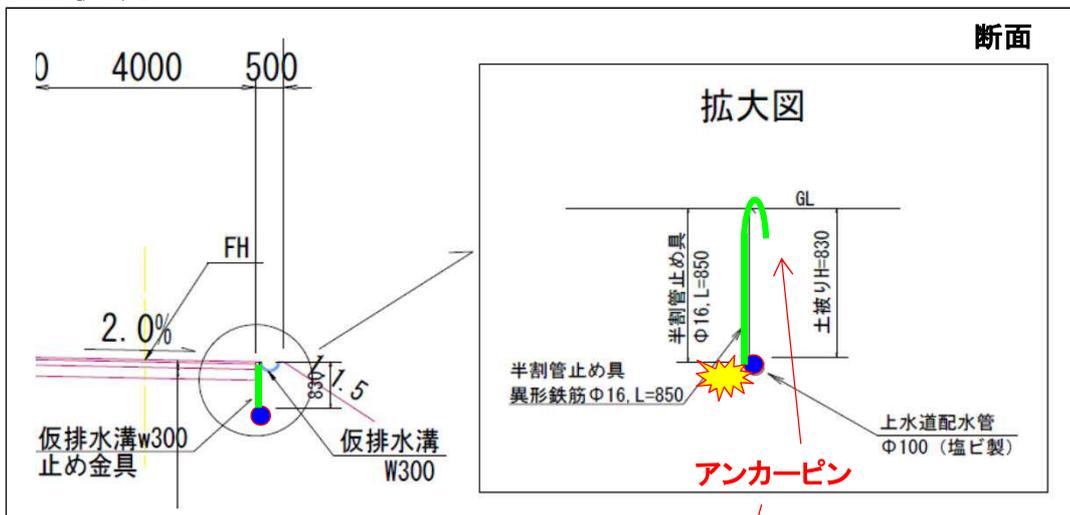
- ・不適切な方法による交換を行ったなど

【事故防止のポイント】

- ・不安全行動をさせないように周知・徹底させる
- ・作業手順書等を遵守するなど

発生日時	平成 28 年 6 月 17 日 (金) 11 時 45 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	仮設上水道管損傷(漏水)
事故概要	コルゲート管を固定するためのアンカーピン打ち込み時、上水道管を損傷させた 公衆損害—地下埋設物件損傷			

事故発生状況



コルゲート固定用のアンカーピンで上水道管損傷

- ・仮排水路施工のため、半割のコルゲートを敷設中に、コルゲートを固定するためのアンカーピン(L=85cm)を打ち込んだところ、仮切り回ししてあった上水管(φ100:土被り83cm)と接触し、損傷させたもの。
- ・切り回し道路に伴い、仮切り回しされていた上水道管であった。
- ・平面図は管理者から提供されていたが、土被りが不明であった。

【事故発生原因】
 ・事前調査(土被り)などの地下埋設物に対する安全管理が十分に実施されていないなど

【事故防止のポイント】
 ・作業前に図面の確認や試掘、管理者の立会などの地下埋設物に対する安全管理を徹底するなど